

令和3年三重県議会定例会

医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

	頁
【 所管事項説明 】	
1 「三重県病院事業 令和3年度 年度計画(案)」について	1
2 津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する 津市との協議状況について	5
【 別冊 】	
(資料1)「三重県病院事業 令和3年度 年度計画(案)」	

令和3年3月15日

病院事業庁

【所管事項説明】

1 「三重県病院事業 令和3年度 年度計画（案）」について

1 年度計画策定の経緯・趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化の様相を見せる中、同感染症への対応に大きく関わっている県立病院の経営について、現時点において中期的な見通しを立てることが困難な状況となっています。

また、総務省においては、令和3年度以降の計画策定指針となる「新公立病院改革ガイドライン」の改定を新型コロナウイルス感染症の影響等から先送りしました。

病院事業庁では、こうした状況を踏まえ、令和2年度までの4年間を計画期間としている現行の中期経営計画を1年延長し、令和3年度については、その取組と目標を示した年度計画を策定することとしました。

2 年度計画の主な内容

(1) こころの医療センター

①令和3年度の取組方向

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不透明な中、患者をはじめ当院に関わるすべての方の安全・安心を守ることを最優先とし、政策的医療のほか訪問看護やデイケア等の地域生活支援に継続して取り組みます。専門的医療については、脳神経内科専門医を配置して認知症治療の充実を図るとともに、県選定のアルコール依存症およびギャンブル依存症の治療拠点機関としての役割を果たします。

また、医師確保に向けて、専門研修プログラムを活用して積極的に研修医を受け入れます。

②主要な取組等

○精神科救急・急性期医療の提供

救急・急性期病棟を中心に個室での対応を要する入院患者の増加に対応するため、個室を増設します。

○認知症治療

脳神経内科専門医を配置して治療の充実を図ります。

○依存症治療

令和2年度にギャンブル依存症治療拠点機関に選定されたことから、専門プログラムに基づいた治療を提供します。

また、依存症治療拠点機関として、医療機関等を対象とした研修会の開催や普及啓発にも取り組みます。

【所管事項説明】

○研修医の受入れ、医師の確保

県内の精神科医療水準の向上および当院における将来的な医師の確保に向け、令和2年度に策定した精神科専門研修プログラムを活用して、精神科専門医の取得を希望する研修医を受け入れます。

○患者満足度の向上

会計の自動精算システムの導入や外来診察の案内表示の電子化など院内手続きのデジタル化を推進し、待ち時間の軽減や接触機会の低減による感染防止を図ります。

◇デイケアサービス

デイケアサービスの実績は、現行計画の期間中、目標値を下回り減少してきていることから、プログラムの見直しや患者・家族への周知に注力して取り組むこととし、令和2年度の実績（見込み）を上回る目標値を設定します。

※R2年度目標 20,000人（実績見込み 10,000人）⇒ R3年度目標値 12,500人

（2）一志病院

①令和3年度の取組方向

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を講じながら、患者や家族の皆さんが安心して地域で生活し続けられる医療サービスを提供します。

また、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践や研究、プライマリ・ケアを担う人材の育成等に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護・予防等の多職種連携に取り組みます。

②主要な取組等

○関係機関等との連携

津市白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築並びに地域医療の充実のため、津市と連携しながら病児・病後児保育や訪問看護ステーションの設置に向けて取り組みます。

○患者満足度の向上

カルテ情報等の電子化による医療サービスの向上を図るため、電子カルテシステムの導入に向けた準備を進めます。

◇在宅療養支援

高齢化が進む中、訪問診療や訪問看護等の在宅療養支援の実績は、現行計画の期間中、いずれも目標値を上回る結果となったことから、目標値を引き上げます。

※R2年度目標 4,000人（実績見込み 4,900人）⇒ R3年度目標値 4,700人

【所管事項説明】

(3) 志摩病院

①令和3年度の取組方向

新型コロナウイルス感染症について、院内での徹底した感染防止対策を講じるとともに、他医療機関や関係団体と連携しながら必要な役割を果たします。

また、志摩地域の中核病院としての役割を果たせるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズを踏まえながら診療機能の充実に取り組むとともに、令和4年度からの次期指定期間に向けた準備に取り組みます。

(4) 県立病院課

①令和3年度の取組方向

新型コロナウイルス感染症について、それぞれの県立病院が通常診療を継続しながら必要な役割を果たせるよう、県対策本部と連携・協力して取り組みます。

また、医師・看護師等医療従事者の確保に努めるとともに、医療情報等の収集・提供を積極的に行いながら、病院毎の課題等に対して共に取り組み、病院の経営改善を支援します。

指定管理者制度を導入している志摩病院については、志摩地域の中核病院として診療体制の充実がさらに図られるよう、指定管理者と一層連携しつつ、適切に指導・監督を行います。

3 今後の予定

- ・病院事業庁経営会議において計画を決定（3月下旬）する予定です。
- ・次期中期経営計画の策定については、新型コロナウイルス感染症の状況や国の動向を注視しながら検討していきます。

【参考】令和3年度目標項目および数値目標 一覧

(1) こころの医療センター

目標項目	R2 目標	R2 見込	R3 目標
精神科救急患者受入件数 (件)	230	170	230
認知症入院患者数 (人/日)	40.0	28.9	40.0
アルコール依存症入院患者数 (人/日)	30.0	26.5	30.0
精神科早期介入対応件数 (件)	200	170	200
デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	20,000	10,000	12,500
訪問看護延べ患者数 (人)	5,000	4,000	5,000
入院後1年以内の患者退院率 (%)	95.0	96.9	95.0
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	8	7	8
こころしっとこセミナー開催件数 (件)	35	35	35
研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	2,200	2,000	2,200
人材育成研修回数 (回)	5	5	5
危機管理研修等参加率 (%)	93.0	98.1	93.0

【所管事項説明】

患者満足度 (%)	94.3	86.2	94.3
経常収支比率 (%)	101.1	108.9	102.6
医業収支比率 (%)	73.8	57.9	63.4
1日平均入院患者数 (人/日)	297.0	224.0	250.0
1日平均外来患者数 (人/日)	280.0	188.0	200.0
医師充足率 (%)	100.0	85.2	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

(2) 一志病院

目標項目	R2 目標	R2 見込	R3 目標
訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	4,000	4,900	4,700
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 (人)	1,400	1,360	1,400
救急患者受入件数 (件)	1,000	930	1,000
医療過疎地域等への支援件数 (件)	7	4	7
多職種連携による取組件数 (件)	30	13	20
研修医・医学生受入延べ人数 (人)	600	332	500
看護実習生等受入延べ人数 (人)	330	48	330
学会、研修、カンファレンス等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0
学会、論文等発表件数 (件)	30	10	30
プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	3	3	3
夢プロジェクト開催回数 (回)	12	12	12
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0
患者満足度 (%)	96.6	99.0	96.6
経常収支比率 (%)	103.1	116.2	109.6
医業収支比率 (%)	67.9	73.6	73.3
診療報酬検討会開催回数 (回)	12	12	12
1日平均入院患者数 (人/日)	38.0	35.7	38.0
1日平均外来患者数 (人/日)	79.0	73.3	76.0
医師充足率 (%)	100.0	79.9	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

(3) 志摩病院

目標項目	R2 目標	R2 見込	R3 目標
経常収支比率 (%)	100.0	119.0	100.0
1日平均入院患者数 (人/日)	251.0	183.0	201.0
1日平均外来患者数 (人/日)	350.0	259.0	301.0
1か月平均救急患者数 (人/月)	615.0	256.1	529.0
利用者満足度 (%)	85.0	71.0	85.0

(4) 県立病院課

目標項目	R2 目標	R2 見込	R3 目標
経常収支比率 (%)	101.5	110.3	104.0
医業収支比率 (%)	70.8	61.4	65.6
医師充足率 (%)	100.0	72.4	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0
患者満足度 (%)	95.0	92.4	95.0

【所管事項説明】

2 津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する津市との協議状況について

津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等については、津市から積極的な関与を進めるために提案された12取組の実現に向け、平成30年度からワーキンググループおよび津市幹部職員と協議を継続してきたところ、一部の事業について令和3年度から津市の負担で実施することで合意しました。

1 令和3年度から津市の負担で実施する項目

- ・病院および診療所、福祉施設等とのホットライン構築（項目6）
- ・病棟看護師等による退院に向けての在宅支援の実施（項目7）
- ・市民啓発事業および地域密着事業の拡充（項目9）

2 協議で進展のあった項目

（1）病児・病後児保育の実施（項目5）

病児・病後児保育を津市の新たな負担で早期に実施することを、県と津市で確認しました。今後、一志病院内への保育室、静養室の整備を進めるとともに、地域型保育専門研修への職員派遣、手数料条例の改正手続き等を進めます。

（2）訪問看護ステーションの設置（項目4）

一志病院内に民間事業者を誘致するため、津市が広報用リーフレットを作成し、市内の事業者を中心に働きかけを行うことを予定しています。

3 今後の予定

病児・病後児保育の実施に向け具体的な準備を進めるとともに、津市との協議を継続し、白山・美杉地域における地域医療の充実および最適な地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいきます。

【所管事項説明】

12 取組に係るワーキンググループでの検討状況一覧

	項目	事業概要	検討状況
1	地域包括支援センターの設置	地域包括支援センターの設置数および担当地域を見直す際に、より一層、医療と福祉の連携強化を図るため、一志病院内に同センターを設置する。	一志病院内に同センターを設置するためには、改修費が高額となることから、院内設置以外の方法で病院と同センターの連携を進める。
2	認知症初期集中支援チームの設置	認知症初期集中支援チームの増設に伴い、一志病院に当該地域を対象とした同チームを設置し、津市から運営を委託する。	地域包括支援センターの一志病院内への設置を前提としていたが、院内設置が難しい状況のため、人的支援など可能な範囲で一志病院が協力する。
3	認知症地域支援推進員の設置	当該地域における認知症支援体制を構築するため、一志病院に認知症地域支援推進員を配置する。	
4	訪問看護ステーションの設置	訪問看護を業としている民間機関を一志病院に誘致し、一志病院内に訪問看護ステーションを設置する。	
5	病児・病後児保育の実施	病児・病後児の保育施設を一志病院内に設置し、津市から一志病院に業務を委託する。	民間事業者の誘致に向けた広報資料を作成し、市内の事業者を中心に働きかけを行う。
6	病院および診療所、福祉施設等とのホットライン構築	在宅生活や施設入所の高齢者が安心して生活を継続できるよう、白山・美杉地域における診療所や老人福祉施設等からの医療にかかる緊急電話に対応する。	費用負担に関して津市と合意できたため、設置に向けた具体的な準備を進める。
7	病棟看護師等による退院に向けての在宅支援の実施	退院前の患者が退院後にスムーズに生活を始められるよう、または、通院を開始できるよう病棟看護師と介護サービス事業者等との連携を図る。	令和3年度から津市の委託を受けて事業を実施する。
8	退院調整カンファレンスによる情報共有、ICT化による関係機関との連携	関係機関が患者の情報を共有し迅速な対応等を可能とするため、ICTを活用する。	
9	市民啓発事業および地域密着事業の拡充	地域住民への啓発事業として、地域に密着した講演会等を展開する。	多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の試行を継続する。
10	生活予防事業の充実・拡充	特定保健指導事業や一般介護予防事業（地域リハビリテーション事業）等を実施する。	津市から委託を受けている啓発事業のうち、一部の事業費を令和3年度から増額する。
11	家庭医療クリニック診療体制強化	家庭医療クリニックから無医地区への巡回診療および多気地区への定期診療等を実施する。	津市から委託を受けている生活予防事業に加えて、地域のニーズを踏まえた新たな事業の検討を継続する。
12	休診時間帯における軽症救急患者の救急車搬送受入	一志病院で、津市南部地域から搬送される軽症救急患者の受入れを実施する。	美杉地域の無医地区解消に向け、家庭医療クリニックの診療体制も含めて検討を継続する。
			軽症救急患者の受入れは継続しつつ、費用負担について引き続き検討する。